

水産業強化支援事業事後評価報告書

		神奈川県
政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標	資源増養殖目標	整理番号 30-11
事業実施主体	神奈川県内水面漁業協同組合連合会	
実施地区名	相模川・中津川流域	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	H30～H31	R3
交付金額	64,844,037円	
事業計画の内容	<p>野性味があり増水にも強い相模湾産の天然アユの中間育成種苗と相模湾産の短期継代種苗の安定的な育成・放流を進めるために中間育成施設の整備を行い、相模川・中津川流域のアユ資源の増大を図ることで漁獲量を増加させ、漁業収入向上につなげていくことを目的とし、以下の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに中間育成施設を整備して放流用のアユを5t生産する。</li> <li>・アユ漁業や遊漁がもたらす経済波及効果により、地域経済を活性化させる。</li> <li>・アユ種苗の県内自給率を向上させる。</li> </ul>	
評価	成果目標	施設の増設による放流用アユ種苗の生産量の増加 (整備前:3t/年、整備後:8t/年)
	現状値	8.23t/年
	目標値	8t/年
	(1) 現状値の説明	令和3年度の同施設における放流用アユ種苗の生産量
	(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)	県内産アユ種苗の生産量が増加し、安定した種苗の供給が可能になったことにより漁獲量の安定化が図られた。
(3) 所見	計画策定時の目標を達成している。	
(4) 評価機関の意見等	令和3年度には8.23tの放流用アユ種苗を生産しており、計画策定時の目標を約3%上回っている。	
今後の改善方向等に関する分析	適切な施設の維持管理を継続することにより、今後もアユ種苗の安定した生産が見込まれる。	